

プロとして魅せつつ
決勝8位の結果も残す!

今年初めて8耐に参戦したモト
ラッド39は、酒井大作選手が結成
した純粋なプライベートチーム、
4月中旬に行われた全日本第2戦
へのスポット参戦と2回の合同テ
スト、計3回しか鈴鹿を走るこ
とができない状況だが、予選では2分
10秒台をマークして18番手クリッ
ドを確保、決勝では序盤で11番手
まで順位を上げると安定したベ
ースを刻み続け、最終的には8位で
チェッカーを受けた。BMW勢最
上位、それより上には国内メカ
ーの有力チームしかないという
驚異的な好成績を取めたのだ。

「すべての内容に満足、というよ
り納得しています」と、酒井選手。
「とにかくベストを尽くすこと
に集中し、そのうえで得られた結果
はどんな順位でも受け入れよう
と、思っていましたから、8位とい
うリザルトはこれ以上にならない
うれしですね。支えてくださっ
た、たくさんの方々のおかげで、
本当に感謝しています」

酒井選手は07、10年のヨシムラ
時代に、鈴鹿8耐を4位、2位、
優勝、6位と結果を残している。
全日本には95年から参戦してい
るから、優勝以外の上位を狙う有
力チームの速さも知り尽くしてい



スズキとの契約は世界耐久タイトルを獲得した昨年で終了、「[人生の第2章]」を始めるにあたってBMWを選んだ酒井選手。ロードスターも購入し、カスタムやツーリングも楽しむつもりだ

S1000RRだから ここまでできた

#390

Team Motorrad 39

8位 寺本幸司/酒井大作/矢木清貴

は存分に発揮され、酷暑の8耐で
も明らかに水温が低く、安定した
フィーリングを維持し
たという。

このオイルもスベシ
ヤルではなく市販品だ。
モトラッド39の参戦コ
ンセプトは、ただ結果
を求めるのではなく、
バイクや使用するパー
ツ、タイヤやオイルの
パフォーマンスを証明
し、魅力あるものと感
じてもらうことにある。
「だからこそノーマル
でも間違いなく戦力
があるS1000RR
なんです。そして僕
たちライダーは、プロフ
ェッショナルとして面
白いレース、感動でき
るレースをし、皆さん
に楽しんでもらいた
く思っているのです」

モトラッド39は、プ
ロとして戦うチームの
緊張感にも近づいて
見えるよう、ビットも
3分の2を応援スベ
ースとして開放した。新
チームで臨む初めての
8耐、という状況下で
プレッシャーは大き
かつたはずだが、モ
トラッド39はし
っかりと結果を残した。



ビット後方は応援スペースとして開放する。「走行ごとに拍手で送り迎えしてくれる皆さんの応援は本当に励みになり、チーム全体が頑張ることができました」と酒井選手。バイクの楽しさを伝えるため、ビットワークでも全力を尽くした

決勝で2分12〜13秒台をコンスタントに刻み続けた酒井選手(左)と寺本選手。ノントラブルかつ迅速なビットワークも奏功し、モトラッド39はレース終盤、転倒やトラブルが多発するなど混乱した上位グループの中でポジションを上げた

「大事なのは人と人とのつながり」と、酒井選手。20年近い付き合いだという寺本選手をはじめ、少年時代から酒井選手を応援してくれているというレーシングメカニックたちが集まってチームが構成される。BMW・S1000RRとの付き合いは今年からだが、プロ集団らしく短期間でマシンを仕上げ、ハイペースで走らせた

